

甲状腺超音波検査 マニュアル

更新日 2024年1月19日 作成担当 奥畑

改訂 2025年6月17日 奥畑

【準備】

PC・プリンター

≪健診支援システム・STELLAR Order≫

腹部と同様に各システムを起動する。

ウォーマー・超音波装置

≪機器の立ち上げ≫

腹部と同様に各機器を立ち上げる。

【検査フロー】

- ① QRコードを読み取り受診者名を確認し登録する。
- ② レポートが自動で開くので前回画像で所見を確認してから検査を始める。
- ③ シールが21枚発行されるので、枠なしチケット、枠あり:確認用として各々貼付使用する。 ※枠無しシールのみ発行されます。(2025/06/17より)。
- ④ 超音波装置はGet Work listにて患者情報取得する。
- ⑤ 開始の前には検査項目 (Abdomen、Breast、Carotid、Thyroid) を選択後、受診者情報を連携し、本人確認をしてから検査を始める。装置本体へ情報が連携されない時は再送し、装置本体側で再度取得をする。
- ⑥ 検査を開始し、操作手順に沿って観察する。必要に応じて計測をする。

【操作手順】

受診者の呼び込み →検査開始

- ① 室内の準備が整った上で*1、受診者を番号で呼び入室させる。
*1: ベッドにはバスタオルを敷き、甲状腺が診易いようにまくらを外し、必要に応じて肩にタオルを敷く。ゼリーふき取りにレンタルのおしぼりを温めておき乾拭き用にフェイスタオルを準備しておく。

検査終了 →レポート作成

- ① ゼリーを拭き取っていただき、受診者を退室させる。
- ② ステラに、手順*2に沿って所見を入力しレポートを一次確定の状態にする。
*2: 別紙 (所見入力の取り決め) 参照

【検査結果の取り扱い】

① レポート入力

- ・ 所見のない場合

異常なしを入力し一次確定

- ・ 所見ありの場合

部位・所見を入力

所見画像をすべてレポートに貼り付け、一次確定

② 二次読影に提出(伊勢崎業務部)

③ 読影確認*³

- ・ 健診部共有 → 個人別フォルダー → ★エコー確認用 → 依頼のフォルダー → 未開封のフォルダーの PDF を印刷し、読影の内容を確認する。

- ・ *³ : 担当者が専用のアカウントで実施する。別紙(所見入力の取り決め)参照

- ・ 性状の異なる所見はまとめてひとつずつの所見として扱う。

【日常点検】

① 使用環境に問題がないか確認 :

- ・ 装置背面のファン部分が塞がれていないか・キャスターの固定
- ・ プローブの状態確認 : プローブ表面の傷やひびなどの破損・(ゲインを上げ拡大画面で画像の欠損がないか)

② 機器の清掃

- ・ プローブ・モニター・プローブホルダー・ゼリーウォーマー・操作パネル
(週末のみフィルターの状態確認と清掃)

③ 消耗品補充

- ・ ゼリー・おしぼり・タオル・ペーパー

【機器メンテナンス】

- ・ 腹部超音波のマニュアルに準じて実施する。

【業務上の注意事項】

- ・ 所見に該当する写真は貼り付け、カテゴリーや左右に関係なく一次入力する。
- ・ 性状の異なる所見はまとめてひとつずつの所見として扱う。
- ・ 問診で聞き取った手術歴、既往などの情報はできるだけ技師コメントに入力する。
- ・ 技師コメントの後に名前を入力する。